

府養研ニュース

2005年7月号

このページでは要点だけをお知らせしています。

追加記事は、本ページのリンクをクリックください。新しいウィンドウが開きます。

府養研ニュースは各種案内等の事務連絡と一緒に、毎月第1月曜日（祝日の場合火曜日）にEメールで配布されています。来月8月は記事の都合のため8日（月）発行です。一部メール網がまだ整備中もしくは検討中の市町村は、郵送または遞送されています。

平成17年7月7日発行（発行遅れました） 大阪府養護教育研究会（広報部）事務局
柏原市立国分中学校 会長 多根井 次朗
〒582-0021 柏原市国分本町 7-1-20
問い合わせ・ご意見は、Mail で本部役員まで fuyouken@visithp.jp

府養研本部から

ホームページもご覧ください。 <http://fuyouken.visithp.jp>

特別支援教育の動向、関連リンク紹介などの各種情報をご覧ください。

ニュースの全部とバックナンバー、講演会案内、報告をご覧ください。

一部、間に合わない案内があります。臨時ニュースまたはホームページにてお知らせします。

役員総会（本部役員・支部役員のみ 役員の方、ご予約ください）

第1回 平成17年6月9日（木）午後3時～5時（終了）

第2回 平成17年9月8日（木）午後3時～5時

第3回 平成18年1月12日（木）午後3時～5時です。

会場は アウリーナ大阪 3階 生駒（第2回のみ 信貴）の間

本部主催

ケアマネジメント研修会

申し込み必要 定員80名

案内をご覧ください

2005年8月4日（木）・8月19日（金） アウリーナ大阪
昨年までと異なり、講演会形式ですので、広く参加いただけます。

内容（予定）

- ・オリエンテーション
- ・障害者ケアマネジメント概論
- ・知的障害者の立場から
- ・権利擁護とは
- ・最近の障害者福祉の動向
- ・自立支援法における障害程度区分の認定モデル事業の報告

研究部から

<p>自閉症教育プロジェクト 一日研修会</p> <p>参加申し込みは不要 案内あり</p>	<p>2005年8月2日(火) 10:00～16:00 東大阪市立イコラムホール (事例研究会) テーマ「本府での特別支援教育をどう進めるか - 現状の養護学級のあり方からどう進めていけばよいのか -」 事例報告者 豊中市立東豊中小学校 坂下和子 コメンテーター 大阪府教育委員会障害教育課 養護学級グループ総括主査 柴田芳明先生 盲聾養護学校グループ総括主査 加藤圭子先生 大阪の今後の特別支援教育の在り方に関するコメントもいただきます (講演会) テーマ「高機能自閉症への具体的な支援を考える」 講師 堺市立日置荘小学校 山田充</p>
<p>自閉症教育プロジェクト 事例研究</p>	<p>2005年10月15日(土) 高津ガーデン or アウィーナ大阪 テーマ「小学校と中学校の連携についての事例による考察」 報告者 豊中市立東豊中小学校 坂下和子 豊中市立第十五中学校 養護学級担任・通常学級担任 コメント アクトおおさか 新澤伸子</p>
<p>特総研主催 自閉症教育実践セミナー</p>	<p>2005年10月21日(金) 大阪府教育センター http://www.nise.go.jp/soumuka/kikaku/katsudo/projects_project1-4.html NISE 独立行政法人 国立特殊教育総合研究所</p>
<p>ICT活用プロジェクト 夏期講座</p> <p>案内は臨時ニュースで お送りします。</p>	<p>日時: 2005年8月17日・18日 9:30～17:00 会場: 大阪府立高槻養護学校 http://www.osaka-c.ed.jp/takatsuki-y/ 〒569-0814 大阪府高槻市富田町1丁目33番17号 TEL 072-696-2836 FAX 072-693-4363 JR西日本・東海道本線 摂津富田(せっつとんだ)駅 下車 阪急電車・京都線 富田(とんだ)駅 下車 Flash 講座・ものづくりやおもちゃなどの改造講座・支援機器活用の 実際などをはじめとしてに複数の講座を開設する予定です。</p>
<p>LD教育プロジェクト 夏期研修会</p> <p>案内をご覧ください</p>	<p>2005年8月30日(火) 10:00-16:00 吹田メイシアター (1) 午前の部 「WISC - 入門編」「教師向け事例検討会」「特別支援教育の 取り組み」「指導の手だてにつながるワークの方法」の4分科会 (2) 午後の部 講演: 「軽度発達障害の感覚・運動の理解と指導について」 講師 加藤 寿宏先生 京都大学医学部保健学科作業療法学専攻</p>

行事部から

<p>施設見学研修</p> <p>詳細は臨時ニュースで</p>	<p>日程検討中、8月26日??? 行き先、京都市立西総合養護学校?ふれあいの里更生園? 決まり次第、臨時ニュースでお知らせします。ご期待ください。</p>
--	--

研修部から

<p>テーマ別研修会</p> <p>案内をご覧ください</p> <p>申し込み 締め切り</p> <p>7月20日</p>	<p>2005年8月8日(月)午後2時～4時30分 アウリーナ大阪</p> <p>例年は年度後半に開いておりましたが、今年度は夏休み中に行うことに致しました。以下は6分科会の内容です。</p> <p>第1分科会：学習に必要な視覚の機能のケア</p> <p>第2分科会：軽度発達障害児の子ども達の行動面からの理解と対応</p> <p>第3分科会：青年期の子どもたちの課題に対する理解と対応</p> <p>第4分科会：自閉傾向を示す子どもたちの理解と対応</p> <p>第5分科会：肢体不自由の子どもたちの理解と対応</p> <p>第6分科会：性に関する課題のある子どもたちの理解と対応</p>
<p>実技講習会</p> <p>案内をご覧ください</p> <p>申し込み締め切り</p> <p>7月20日</p>	<p>2005年8月24日(水) 10時から16時</p> <p>アウリーナ大阪3階 葛城、信貴の間他</p> <p>講師 象の会 内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生</p> <p>内容 午前 教材紹介とお話 午後 教材を選択して制作します</p> <p>数字の歌・メロディ帰還車・かずはかせ・ぱたぱた</p> <p>象の会のホームページにて作品が見られます。</p> <p>http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/</p>
<p>教育講演会</p>	<p>2005年10月予定</p>

中河内支部から

<p>東大阪市養研林間学舎</p>	<p>6月13日(月)から6月22日(水)の間に一泊二日の校外学習として、生駒山麓ふれあいセンターで行われました。写真等はHPに</p>
--------------------------	--

他団体から

<p>近特連</p> <p>和歌山大会</p>	<p>「一人ひとりの教育的ニーズに応える特別支援教育の実践をめざして」</p> <p>日時 2005年8月5日(金) 午前 開会行事・記念講演 午後 分科会</p> <p>場所 和歌山県民文化会館 ・ ホテルアバローム紀の国</p> <p>参加資料代 3,500円 2次案内配布済み(府養研究HPにもあり)</p>
<p>日本特殊教育学会</p> <p>第43回大会</p>	<p>2005年9月23日(金)～25日(日) 場所 金沢大学角間キャンパス</p> <p>http://www.ed.kanazawa-u.ac.jp/~tokkyo/</p>
<p>第2回特別支援教育</p> <p>シンポジウム</p> <p>主催 JASEN</p> <p>案内をご覧ください</p>	<p>JASEN http://kansas.ceser.hyogo-u.ac.jp/jasen/</p> <p>日時：2005年8月6日(土) 13時30分～16時</p> <p>会場：阪南パラボーム 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目22-15</p> <p>テーマ：保護者の養育負担を支援するために 会費 500円</p>
<p>日本臨床心理学会</p>	<p>2005年9月15日(木)～17日(土)第41回大会 大阪教育大学にて</p> <p>「特別支援教育」「不登校」「軽度発達障害」などのテーマ</p> <p>詳細は学会HP http://www.geocities.jp/nichirinshin/</p> <p>2005年7月9日(土)上智大学にて第2回関東地方委員会を開催予定</p> <p>適応指導教室OBを交えての事例検討。</p>

<p>大阪教育大学附属養護学校公開研修会</p> <p>定員枠があり、申し込みが必要です。</p> <p>まずは案内をご覧ください。</p>	<p>2005年8月24日(水)25日(木)26日(金)に開催されます。</p> <p>場所 大阪教育大学附属養護学校(大阪市平野区喜連)</p> <p>「自閉症の理解と支援」 コミュニケーションの観点から</p> <p>「自立活動における動作法を用いた実践」</p> <p>「今後の特別支援教育とコーディネーターの役割」</p> <p>障害児のためのコミュニケーション指導「ことばのストレッチ体操」</p> <p>「障害のある人の就業と就業支援のひろがり」</p> <p>「ムーブメント教育からのアプローチ」</p>
<p>大阪教育大学附属養護学校創立40周年記念研究大会 (一次案内)</p>	<p>2005年11月4日(金) 9時30分～16時30分</p> <p>大阪教育大学附属養護学校</p> <p>「暮らし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる ～「個への支援」の具体化についての実践報告～</p> <p>部 「本校における教育実践の現状と課題」・公開授業・分科会</p> <p>部 「暮らし・つながり・支援を考える」・全体会・基調講演・シンポジウム</p>
<p>みなみやましろ夏の公開講座</p> <p>主催 南山城養護学校</p> <p>定員430名</p> <p>メールで予約が必要 案内をご覧ください</p>	<p>2005年8月26日(金) 13:00～16:30</p> <p>場所:アスピアやましろ(山城町総合文化センター)</p> <p>内容:自閉症の子どもたちの理解を深める</p> <p>講座1「自閉症の基本的理解と具体的支援」</p> <p>講師: 門 真一郎氏(京都市児童福祉センター医師)</p> <p>講座2「本人が語る『自閉症』の世界」</p> <p>講師: 荒木 大氏</p>

その他情報 以前からニュースや府養研HPで紹介しているものです。研修しやすい時期ですのでまた紹介させていただきます。

<p>都道府県と政令指定都市の特別支援教育関連サイト一覧</p>	<p>全国都道府県と政令指定都市の公式サイトから、教育委員会や教育センターの特別支援教育や障害児教育関連サイト、および関連答申等や関連資料等をピックアップし一覧にしました。</p> <p>各地で、取り組みや答申等、また、指導資料等も公開されております。</p> <p>http://fuyouken.visithp.jp/joho02-01.htm</p>
<p>大阪府教育センター</p>	<p>http://www.osaka-c.ed.jp/ こちらから入れます。</p>

養護教育関係者 様

平成17年7月1日

大阪府養護教育研究会
会長 多根井 次 朗

「障害者ケアマネジメント夏期研修会」のご案内

梅雨の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は本研究会の充実、発展のためにご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、標記研修会を下記のとおり開催いたします。

多数の方々の参加をお待ちしています。

記

- 1 日 時 平成17年8月4日(木)・19日(金) 午前10時～午後5時
- 2 会 場 アウィーナ大阪 3階 信貴の間
大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12
TEL: 06-6772-1441
近鉄奈良線・大阪線「上本町」駅下車 徒歩3分
地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅下車 徒歩8分
- 3 内 容 (予定) 4日(木) 講義 ・オリエンテーション
・障害者ケアマネジメント概論
・知的障害者の立場から
19日(金) 講義 ・権利擁護とは
・最近の障害者福祉の動向
・自立支援法における障害程度区分の認定モデル事業の報告
- 4 講 師 大阪障害者ケアマネジメント協会員他
- 5 参 加 費 無料
- 6 定 員 80名
- 7 申し込み ①氏名・所属 ②連絡先(E-mail・FAX・TEL)を明記の上、E-mailまたはFAXにてお申し込みください。定員になり次第、締め切らせていただきます。
- 8 申し込み・ 大阪府養護教育研究会事務局 大阪府立寝屋川養護学校 木村 稔
問い合わせ先 TEL: 072-824-1024
FAX: 072-824-3709
E-mail: kimura.1961-04-21@titan.ocn.ne.jp

平成17年7月1日

学 校 長 様
養護教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会長 多根井 次朗

府養研研究部・自閉症教育プロジェクト一日研修会のお知らせ

平素は本研究会に格別のご厚情を賜り、誠にありがとうございます。さて、府養研・自閉症教育プロジェクトによる一日研修会を下記のとおり行ないますので、ご案内申し上げます。

つきましては、貴校の養護学級担当をはじめ通常学級担当の先生方にも多く参加していただけますようよろしくお願いいたします。

記

1. 日 時 平成17年8月2日（火）10:00～16:00

2. 場 所 イコーラムホール（東大阪市男女共同参画センター）

〒578-0941 東大阪市岩田町4-3-22-600 TEL:0729-60-9201

近鉄奈良線若江岩田駅前「希来里」6階

※「希来里」は、大型小売店、公共施設、集合住宅等の複合施設です。

3. 日 程

10:00 事例研究会

テーマ『本府での特別支援教育のあり方ー現状の養護学級のあり方からどう進めていけばよいのかー』

- ・ 事例報告者 豊中市立東豊中小学校教諭(養護学級担当) 坂下和子先生
- ・ コメンテーター

大阪府教育委員会障害教育課 養護学級グループ総括主査 柴田芳明先生

同

盲聾養護学校グループ総括主査 加藤圭子先生

※事例報告に関して、さらに大阪の今後の特別支援教育の在り方に関してコメントをいただきます

12:00 昼休憩（各自昼食）

13:30 講演会

- ・ テーマ『通常学級でのアスペルガー症候群および高機能自閉症の児童生徒への具体的な支援のあり方について』
- ・ 講 師 堺市立日置荘小学校教諭（通級指導教室担当） 山田充先生

16:00 終了

※ 参加申し込みはいりません。当日会場にお越しください。

※ 問い合わせは、府養研・自閉症教育プロジェクト事務局（金井孝明）まで。

堺市立百舌鳥養護学校 Tel.072-252-3081（勤務校）、E-mail DQG05305@nifty.ne.jp（金井）

平成17(2005)年7月4日

学校長 様
養護教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会長 多根井 次朗

大阪府養護教育研究会研究部 LD 教育プロジェクト 夏期研修会のご案内

平素は養護教育の振興と本研究会の発展のためにご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。さて、大阪府養護教育研究会研究部 LD 教育プロジェクトでは、下記の要領で、研修会を行います。貴校の先生方の参加に関しまして、ご配慮をいただきますと共にあわせてご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成17(2005)年8月30日(火) 10:00~16:00
2. 場所 メイシアター(吹田市文化会館) 阪急千里線「吹田」駅下車すぐ
吹田市泉町2丁目29番1号 TEL(06)6380-2221

3. 内容

(1) 午前の部

「WISC-Ⅲ入門編」「教師向け事例検討会」「特別支援教育の取り組み」
「指導の手だてにつながるワークの方法」の4分科会

(2) 午後の部

講演:「軽度発達障害の感覚・運動の理解と指導について」

講師 加藤 寿宏先生 京都大学医学部保健学科作業療法学専攻

※参加申し込みはいりません。当日会場に直接お越し下さい。(駐車は不可)
満席となった分科会については他の分科会に参加していただく事があります。
連絡先は LD 教育プロジェクト事務局 吹田市立豊津第一小学校内(江端)

TEL(06)6386-0891

平成17年7月4日

各 学 校 長 様
養護教育担当者 様

大阪府養護教育研究会
会 長 多根井 次朗

府養研 テーマ別 研修会

『 行動に様々な問題を示す子どもたちの理解と援助 Q&A 』 (二次・最終案内)

府下の障害教育に関わる先生方が、日頃の指導上の疑問や悩みを相談できる機会として続けてきております『テーマ別研修会』を本年度も計画しました。例年は年度後半に開いておりましたが、昨年度のアンケートのご意見などをふまえて、今年度は夏休み中に行うことに致しました。

1学期を終えて、子ども達の状況が分かり、課題や問題点の見えてきたこの時期に、それらを整理して見直す視点や具体的な対応策などを、助言の先生方のお話をいただきながら話し合いたいと思います。

養護学級担任の先生方だけでなく、通常の学級の先生方も、是非ご参加下さいますよう、ご案内致します。

1. 日 時 平成17年8月8日(月)午後2時～4時30分
(受付 午後1時30分より)
2. 場 所 アウィーナ大阪 大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12
近鉄奈良線・大阪線「上本町」下車 徒歩3分
地下鉄谷町線・千日前線「谷町九丁目」駅下車 徒歩8分
3. 申込先 テーマ別に各分科会担当者まで、FAXでお申し込み下さい。(下の表をご覧ください)
ただし、質問がある方は封書にてお送り下さい。
4. 締め切り 7月20日(水)

【申込み・問い合わせ先】

分科会	学 校 名	担当者	住 所	FAX番号
第1分科会	阪南市立 鳥取東中学校	池永 範子	〒599-0213 阪南市和泉鳥取1455	0724-73-0861
第2分科会	池田市立 呉服小学校	鈴木 光子	〒563-0046 池田市姫室町10-1	072-751-8367
第3分科会	寝屋川市立 桜小学校	横山 幸子	〒572-0038 寝屋川市池田新町 3-23	072-839-4660
第4分科会	松原市立松原第三中学校	大西 悦夫	〒580-0024 松原市東新町3-1-23	072-339-2513
第5分科会	島本町立 第二中学校	斉藤 博英	〒618-0002 島本町東大寺4-150	075-962-1179
第6分科会	泉大津市立 上條小学校	北原 邦子	〒595-0006 泉大津市東助松3-13-1	0725-31-4992

各分科会のテーマと助言の先生方

第 1 分科会	学習に必要な視覚の機能のケア
LD児を中心に、視覚的な問題をかかえた子どもたちが多いと思われます。それに関する専門的なアドバイス 助言 視機能トレーニングセンターJOY VISION オプトメトリスト 北出勝也 先生	
第 2 分科会	軽度発達障害児の子ども達の行動面からの理解と対応
軽度発達障害の子どもたちが、教室で見せる行動上の問題への対応 助言 神戸市立有野台小学校 教諭 特別支援教育士スーパーバイザー 岸本友宏 先生	
第 3 分科会	青年期の子どもたちの課題に対する理解と対応
問題行動の改善と予防 ー少年院での実践をふまえてー 助言 法務省広島矯正管区教育課長 広島少年院首席専門官 向井 義 先生	
第 4 分科会	自閉傾向を示す子どもたちの理解と対応
自閉といわれる子どもたちの特性と理解、および指導のあり方について 助言 百舌鳥養護学校 教諭 金井孝明 先生	
第 5 分科会	肢体不自由の子どもたちの理解と対応
肢体不自由の子どもたちの示す特性と理解、および指導のあり方について 助言 履正社学園 コミュニティスポーツ専門学校 理学療法士 下嶋清市 先生	
第 6 分科会	性に関する課題のある子どもたちの理解と対応
発達に障害のある子どもたちの思春期を迎えるにあたっての悩みについての理解と、実際の指導について 助言 大阪知的障害者育成会地域支援担当 中村昭代 先生 日本自閉症協会大阪支部 大橋一予 先生	

----- 切り取り線 -----

府養研テーマ別研修会 参加申込と質問内容

宛 先	第 () 分科会担当	市立	学校	先生 宛
参加者氏名	(連名可)			
所 属 校	市立	学校		
連 絡 先	TEL	FAX		
<p>以下は質問のある方のみお書き下さい。質問内容は、学年・組・性別・障害状況・問題となる行動などを、簡潔・具体的にお書き下さい。この欄に記入された方は、個人情報保護の観点から、封書にて郵送して下さい。スペースが足りない場合は、適当な用紙をご利用下さい。</p>				

平成17年7月4日

学 校 長
養護教育関係者様

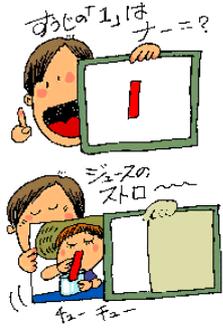
大阪府養護教育研究会
会 長 多根井 次朗

実 技 研 修 会 の ご 案 内

学期末のあわただしい時期、先生方もご活躍のことと存じます。
さて、例年実施しております府養研「夏の教材製作講習会」を下記のように実施いたします。ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成17年8月24日(水) 10時～16時 (受付 9:30～)
- (2) 場 所 アウィーナ大阪 葛城、信貴の間(3階) 他
〒543-0031 大阪市天王寺区石ケ辻町19番12号 TEL (06)6772-1441
- (3) 講 師 象 の 会 (内藤 寿・松永 榮一・朝井 翔二 各先生)
- (4) 内 容 午 前:教材紹介とお話
午 後:下記のお好きな教材を選んで製作していただきます。
それぞれの製作所要時間は60～90分なので、午後二つ作ることも可能です。

<p>① 数字の歌</p> <p>子どもたちに数字に親んでもらうために、引き出すと数字が楽しい絵に変身するオリジナル絵本を作ります。1～10までの数字がどれも楽しい絵に変ります。</p> <p><用意するもの> 材料費 1,000円 カッターナイフ、はさみ、30センチ定規、ホッチキス セロテープ(10mm幅)、赤・黒の油性ペン(マジック)</p> 	<p>② メロディ帰還車</p> <p>押せば転がって行って、止まって、「遊ぼうよ」と、また転がって戻ってくる不思議な車。名づけて「きかんしゃ」。転がっている間、楽しいメロディが鳴るようにもしました。</p> <p><用意するもの> 材料費 1,000円、カッターナイフ、はさみ、30センチ定規、千枚通し、両面テープ(10mm幅)、+ねじ回し</p> 
<p>③ かずはかせ</p> <p>球の操作を通して、数の概念の形成を図ります。どのように置いても4個置けば、「よん」、7個置いて、3個取れば4というように、加算、減算いずれでも使用可能です。</p> <p><用意するもの> 材料費 12,000円 小さなプラスドライバ、ニッパー 両面テープ10mm幅を用意してください。その他必要なものはこちらで用意します。</p> 	<p>④ ぱたぱた</p> <p>お話を進めていって、最後になるとぱたぱたと変シーン!!いもほり、おさるさんとバナナなどいろいろなお話を用意しました。</p> <p><用意するもの> 材料費 800円、他に差し換えのお話のカラーコピー代(800円) セロテープ、はさみ、カッターナイフ、透明両面テープ10mm幅、普通の紙製の両面テープでなく、「透明」と書かれたものを用意してください。</p> 

※③「かずはかせ」の材料費が高額になっていますが、これは玉の数を感知する今までのIC部品が製造中止になり、今回からはコンピュータを使うことになったからです。

※昼食の持ち込みはできません。(昼食時間12時～13時予定)

※内容は「象の会」のホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/> をご参照下さい。

(5) 準備物・費用 前ページ表参照 **当日は、作品を入れる袋を各自ご持参ください。**

(6) 申し込み方法 下記用紙にご記入の上、支部役員まで、**FAX** でお申し込みください。

支 部 名	役 員 名	学 校 名	FAX 番号
豊 能	鈴木 光子	池田市立 呉服小学校	072-751-8367
三 島	斉藤 博英	島本町立 第二中学校	075-962-1179
北 河 内	横山 幸子	寝屋川市立 桜小学校	072-839-4660
中 河 内	北山 美穂	八尾市立 曙川南中学校	0729-94-1419
南 河 内	大西 悦夫	松原市立松原第三中学校	072-339-2513
堺	大村 葉子	堺市立 神石小学校	072-241-2158
泉 北	北原 邦子	泉大津市立 上條小学校	0725-31-4992
泉 南	池永 範子	阪南市立 鳥取東中学校	0724-73-0861
大阪市・その他	北山 美穂	八尾市立 曙川南中学校	0729-94-1419

(7) 申し込み締め切り 平成17年7月20日(月)

(8) 問い合わせ先 八尾市立曙川南中学校 北山美穂 研修部 書記

TEL 0729-94-1418 FAX 0729-94-1419

.....キ.....リ.....ト.....リ.....セ.....ン.....

申 込 用 紙	
送 信 先	() 学 校 支部役員 () 宛 FAX 番号 () - () - ()
申 込 者	() 様
学 校 名	() 学 校
FAX 番号	() - () - ()
希望作品番号に○印	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4

※ 申込を受付したことをお知らせするご案内は致しませんので、この用紙をご持参の上、当日会場へお越しください。

尚、会場の都合上、人数に制限がありますので、残念ながら貴希望に添えない方のみ、連絡させていただきます。

平成 17 年（2005 年）7 月 11 日

大阪府養護教育研究会会員 様

大阪府養護教育研究会
会 長 多根井次朗

大阪府養護教育研究会（行事部）主催

施設見学研修案内

初夏の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は養護教育の振興と本研究会の発展のために格別のご厚情を賜り誠にありがとうございます。

さて、大阪府養護教育研究会主催の施設見学研修を下記の通り実施いたします。多数のかたがたの申し込みをお待ちしております。

記

1. 日時 2005年 8 月 26 日（金）9：00 集合～16：30 解散予定
※9：10 には出発しますので集合時刻厳守でお願いします。
2. 集合場所 JR 高槻駅南側（阪急高槻市駅約 500m）
※ 行事部員が 8：30 には集合場所近くに立ちます。
※ 参加者には、詳細地図をお送りします。
3. 交通機関 貸し切りバス
4. 定員 30 名（府養研行事部員を含む）
※ 定員を超えた場合は、行事部で抽選させていただきます。
※ 参加の可否については 8 月 5 日（金）までにお知らせいただいた連絡先に Mail または Fax にて連絡させていただきます
※ 大阪府立養護教育諸学校及び大阪府下（大阪市を除く）小・中学校の教師のみの参加とします。
5. 見学施設 京都市立西総合養護学校
〒610-1101 京都市西京区大枝北沓掛町一丁目 21-21
<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/nishi-y/>
知的障害者入所更生施設「洛西ふれあいの里更生園」
〒610-1101 京都市西京区大枝北沓掛町一丁目 21-20
<http://www.fukusikyokai.or.jp/r-k01.htm>
6. 行程 JR 高槻駅南集合（9：00）→出発（9:10）
→京都市立西総合養護学校見学研修（10:00～12:30）→昼食※
→洛西ふれあいの里更生園見学研修（14：15～15：30）
→JR 高槻駅南 16：30 解散予定

※昼食はふれあい会館にて予約しておりますので実費 1000 円(税込)を当日集めさせていただきます

※ふれあい会館 2 階には福祉機器等の展示があり、昼食時感を利用して見学可能です。

7. 参加費 無料 (ただし、昼食代 1000 円 当日徴収)

8. 申し込み 8月2日(火)締め切り (厳守)

1)氏名 2)学校名 3)連絡先 Mail アドレスまたは Fax 番号を記入の上下記まで、Mail または Fax にて申し込みください

※ 電話では受付いたしませんのでよろしくお願ひします。

※ 連絡先は、8月初旬に連絡が取れるものをお願いします

9. 申し込み先 高槻市立芥川小学校 田村 真一

Mail gyouji@fuyouken.visithp.jp

Fax 072-682-1407

切り取り線

高槻市立芥川小学校 田村真一 宛 (Fax 072-682-1407)

大阪府養護教育研究会主催 施設見学研修

申 込 書

8月26日(金)の大阪府養護教育研究会施設見学研修に申し込みます。

立 学校

氏名

連絡先 Fax 番号

※なお、申込者の氏名、学校名、連絡先がわかるものであれば、この申込書の形式でなくても結構です。

平成17年（2005年）7月11日

大阪府養護教育研究会会員 様
養護教育関係者 様

大阪府養護教育研究会
会 長 多根井次朗

府養研ICT活用プロジェクト夏期講座（一次案内）

大阪府養護教育研究会ICT活用プロジェクト夏期講座を下記の要領で実施いたします。

今年度は、「二学期から役立つICT活用」をテーマに複数の講座を設定しました。内容も教材等作成講座、機器等の改造や自作講座、活用事例などさまざま。ニーズ、興味・関心、ご都合等に合わせて、講座を選んでご参加ください。

お盆の時期ではありますが、多数の方々の参加をお待ちしております。

記

1. テーマ 二学期に役立つICT活用
2. 日時 8月17日(水)・18日(木) 9:30～17:00
3. 会場 大阪府立高槻養護学校 <http://www.osaka-c.ed.jp/takatsuki-y/>
高槻市富田町1-33-17 tel 072 - 696 - 2836
JR摂津富田駅下車 約700m 阪急富田駅下車 約500m
公共交通機関のご利用をお願いします。
4. 参加費 無料（ただし、材料費等が必要な場合があります）
5. 申し込み 定員のある講座をのぞき、当日参加もできますが、準備等の都合がありますので、できる限り、8月9日(火)までに、以下の内容を沿えて、書き申し込み先まで、e-mailまたはfaxにてお申し込みください
 - 1) 氏名・所属
 - 2) 連絡先（e-mail、fax、tel）
 - 3) 参加講座記号e-mailの場合は、件名を「夏期講座申し込み」でお願いします
6. 申し込み先 田村真一（高槻市立芥川小学校）
問い合わせ mail ict@fuyouken.visithp.jp
fax 072 - 682 - 1407
問い合わせはできる限り、e-mailにてお願いします。

7. 講座

講座は、両日とも午前の部（AM）9：30～12：30、午後の部（PM）14：00～17：00の時間帯で設定しておりますが、講座によっては、複数の時間帯にまたがるものもございます。各講座の時間帯をご確認のうえ、参加講座をお選びください。

講座一覧（印の時間帯にその講座がもたれます。表下の注もご覧ください）

講 座		17日(水)		18日(木)	
記号	講 座 名	AM	PM	AM	PM
A	あなたも作れるFlash教材 講師：神佐 博 先生・近藤春洋先生				
B	「静止画一枚から動画を作成できる！」 ～授業ですぐに使えるかんたんクイズムービー制作 技法～ 講師：廣瀬正彦氏				
C	コミュニケーションエイド入門 講師：大杉成喜先生・佐原恒一郎先生他				
D	コミュニケーションエイド応用 講師：大杉成喜先生・佐原恒一郎先生他				
E	パソコンが広げる子どもたちの生活世界 講師：小西順先生				
F	アシスティブテクノロジーの実際 講師：大前洋介先生・天後毅彦先生				
G	子どもに役立つグッズ改造・作成講座（先着10名） 講師：大井 雅博先生・大峠貴弘先生・榎場政晴先生				
H	アシスティブテクノロジー入門				
I	ITによる在宅就労の夢と現実(仮題)				

講座Gは材料等の都合で先着10名とします。

講座Aは、Flash MXの製品版か体験版がインストールされたパソコンが必要です

講座Bは、WindowsXPのパソコンが必要です。講座の備考欄をご覧ください

講座C・D・H・Iについては、詳細が決まり次第ホームページにて紹介します

府養研ICT活用プロジェクト夏期講座各講座内容概略

各講座内容の概略です。備考欄には、参加に必要な機器や持参するもの等の記載がございますので、よくお読みください。

なお、講座A・講座Bは、二日間通しの参加でお願いします。

講座内容の未定部分は、順次HP（<http://fuyouken.visithp.jp/ict.htm>）にて公開しますので、そちらもご覧ください。

講座A	17日(水)・18日(木)9:30～17:00
講座名	あなたも作れるFlash講座
講師	神佐 博 先生（石川県立七尾養護学校珠洲分校教頭） 近藤 春洋 先生（大阪府立交野養護学校教諭）
内容	<p>Webページでは、Flashを使った自作教材が数多く公開されています。「自分も作ってみたい」と思われませんか。</p> <p>本講座ではFlashで教材づくりをします。難しそうと思わず一度ご参加ください。初心者の皆様には、近藤先生から、「FLASH入門」として、「シングルスイッチで動くソフト」・「マッチングのためのソフト」・「かたはめのソフト」の作成講座をしていただきます。</p> <p>Flash経験者には、神佐先生からKanzaSoft（http://kanza2004.poke1.jp/）の「さんすう・数学」で用いられている「×形式の学習ソフト」作成講座をしていただきます。2つのグループに分かれての二日間の講座になります。</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> Macromedia Flash MX または、以下のFlashサイトから30日間無償トライアル版をインストールしたパソコンをご持参ください。 Flash公式ホームページ http://www.macromedia.com/jp/software/flash/ 延長コードがありましたらご持参ください。

講座B	17日(水)・18日(木)9:30～17:00
講座名	「静止画一枚から動画を作成できる！」 ～授業ですぐに使えるかんたんクイズムービー制作技法～
講師	廣瀬 正彦氏（こ・めでいあセンター代表）
内容	<p>1日目に、カメラワークを含めた基礎的なデジタル編集の手順、テクニックをお伝えして、午後には昨年行った静止画一枚から動画を作成する技法をマスターして頂きます。</p> <p>2日目には1日目の技法に、動画カットも加えた4コマビデオの制作をして頂き、最後には品評会を行います。1日目終了後に取材の宿題を出させて頂いて、可能な方は2日目の準備をして頂きます。</p>

備考	
<ul style="list-style-type: none"> デジタルカメラ（もしくはデジタルカメラ機能のついたデジタルビデオカメラ） 撮影した画像データを取り込めるパソコン （直接ケーブルでデジタルカメラと接続して画像を転送できるかデジカメのメモリーカードを挿入できる内蔵スロットないし外付けのメモリーカードリーダーが動作するパソコン） そのパソコンにCD-ROMからソフトをインストール出来る環境が整っていること。出来ればCD-Rドライブが使えて記録用メディアも用意していただくと理想です。 使用ソフトの要求スペックから、パソコンはWindowsXPでPentiumIII800MHz以上、メモリ256MB以上、ハードディスクの空き容量5GB程度必要。推奨環境はPentium4以上のCPU、512MB以上のメモリです。 まあ、でもスペックにこだわらずとりあえずやってみましょう。何とかありますよ。 延長コードがありましたら、ご持参ください。 <p>廣瀬 正彦氏が代表をされてるこ・めでいあセンターのHPは以下です。 http://www.kcn.ne.jp/~booboo/</p>	

講座C	17日(水) 14:00～17:00
講座名	コミュニケーションエイド入門
講師	大杉成喜先生 （独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 教育研修情報部主任研究官） 佐原恒一郎先生（千葉県立袖ヶ浦養護学校教諭） 他（現在調整中）
内容	
講座Dとあわせて、詳細は、現在調整中ですが、「コミュニケーション概論」・「VOCAの機能とその限界」・「シンボルのいろいろと、その機能」などを予定しています。詳細が決まり次第、HPにて紹介します。	

講座D	18日(木) 9:30～17:00
講座名	コミュニケーションエイド応用
話題提供	大杉成喜先生 （独立行政法人 国立特殊教育総合研究所教育 研修情報部主任研究官） 佐原恒一郎先生（千葉県立袖ヶ浦養護学校教諭） 他（現在調整中）
内容	
講座Cとあわせて、詳細は、現在調整中ですが、指導の実際やコミュニケーションエイド製作などを予定しています。詳細が決まり次第、HPにて紹介します。	

講座E	17日(水) 14:00～17:00
講座名	パソコンが広げる子どもたちの生活世界
話題提供	小西 順先生（大阪府立岸和田養護学校教諭）

内容
<p>前半は、パソコンを活用する事で「重度の子どもたちの意欲を育て、それを原点として、コミュニケーションを確立する事が出来る」という事、併せて、そのガイドラインについて展開します。。</p> <p>後半は、同じくパソコンを活用する事で、「軽度の子供たちの生活力を高める事ができる」という事、具体的には、「シミュレーションソフトを用いた生活体験学習により、ソーシャルスキルを高めるプログラム」(SPSS)を、説明します。</p>
備考
小西順先生のHP「障害児教育とパソコン」 http://homepage.mac.com/mamenchi55/

講座F	18日(木)14:00~17:00
講座名	アシスティブテクノロジーの実際
話題提供	大前洋介先生(神戸市立友生養護学校教諭) 天後毅彦先生(伊丹市立伊丹養護学校教諭)
内容	<p>前半に大前先生から「インテリキーがすき!!」と題して下記内容を 通常のキーボードのように100を越えるボタンの数が固定された配置は利用者にとってたいへん敷居の高いものです。マウスで操作するっていうことも難しい。そんな悩みに応えて、利用者に合わせてボタンの大きさや場所を自由にレイアウトできる柔軟な入力装置として重宝されてきたのがインテリ・キーボード。このたびUSB接続可能な入力装置に、生まれ変わりましたので、改めて機器のご理解と活用の提案のための講座をもたせていただきます。実践紹介では、本物の硬貨をキーボードに貼り付け、お金を学習するという内容を紹介させていただきます。</p> <p>また講座後半では、みなさまより、「こんな利用方法があるのではないか?」というアイデアを提起していただければと思います。実践へのご支援をさせていただきます。</p> <p>後半は、天後先生から「支援テクノロジー」と題して下記内容を 本校では、養護学校の地域のセンター化の一環として特別支援教育の中でもアシスティブテクノロジーの分野も支援の対象にしています。地域センター部門の職員として、これまで培ってきた支援テクノロジー、ローテクからハイテクまで一挙公開して、センターとしての可能性を発表いたします。守備範囲の広いプレーヤーとしての支援センターの準備と実践をご覧いただき、ご意見をいただければ幸いです。</p> <p>紹介事例 種々のマイクロスイッチからニーズにあったスイッチを加工する。自閉症児を視覚支援するコミュニケーションカードの作成。。。などなど</p>
備考	
インテリキー	http://www.accessint.co.jp/cgi-bin/products/index.php?id=92

講座 G	18日(木)9:30~17:00
講座名	子どもに役立つグッズ改造・作成講座
講師	大井 雅博先生(三重県立西日野 教諭) 大峠貴弘先生(大阪府立茨木養護学校 教諭) 榎場政晴先生(大阪府立茨木養護学校 教諭)
内容	

<ul style="list-style-type: none"> * シャボン玉製造器乗っ取り改造 * 100円均一Shopのライトをスイッチに改造 * 自作スイッチ * Mouse乗っ取り改造 * BDアダプター制作 * タイムログ紹介 * 大杉さんの「テク」支援グッズの紹介 * 簡単なパワーポイントの自作学習Soft(文字の学習)の紹介。
備考
材料費1000円(実費)が必要です。当日集めさせていただきます。

講座 H	17日(水)9:30~17:00
講座名	アシスティブテクノロジー入門
講師	渡邊正裕先生 (独立行政法人 国立特殊教育総合研究所 教育研修情報部研究員)
内容	<p>文部科学省で「アシスティブテクノロジー(AT:支援技術)」ということばが位置づけられた「情報教育に関する手引き」をもとに、特別な教育ニーズのある子どもたちへの情報化と支援について概説し、具体的な機器や利用を紹介します。</p> <p>また、これらの機器等を利用することによって生活の質を改善するために、ICF(国際生活機能分類)を活用する試みについてお話しします。</p>
備考	
	<p>情報教育に関する手引き</p> <p>http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/020706.htm</p>

講座 H	17日(水)14:00~17:00
講座名	ITによる在宅就労の夢と現実(仮題)
講師	磯田真一氏
内容	
	内容は、現在調整中です。決まり次第HPにUPします。

講座C・D・IIについては、詳細が決まり次第HPにて公開します

大阪府養護教育研究会ICT活用プロジェクトHP <http://fuyouken.visithp.jp/ict.htm>

●第2回特別支援教育シンポジウム

第2回特別支援教育シンポジウムを下記の要領で開催します。教師、保護者の方々の参加をお待ちしています。

- ・日時： 2005年8月6日(土) 13時30分～16時
- ・会場： 阪南パラドーム(大阪市教職員互助会厚生施設)
大阪市阿倍野区阪南町

・シンポジスト：

野口美加子氏(東京都在住の保護者) 自閉症のある人の将来――
息子/娘のライフプランを考える

水野 誠氏(湖南省在住の保護者) 湖南省発達支援システムから
保護者はなにを得ているか

朝野 浩氏(京都市立西総合養護学校) 卒業後の自立を支援する
養護学校のカリキュラム再編

藤田継道氏(兵庫教育大学) 月例指導会などでの保護者への
支援から考えること

- ・司 会： 梶 正義氏(兵庫県立のじぎく養護学校)
- ・コーディネータ： 朝野 浩・成田 滋(兵庫教育大学)
- ・参加費： 500円

・なお当日会場では、企業、団体、親の会、個人などが出版している教材、玩具、書籍や資料などを展示販売いたします。どうか関係者にお知らせくだされば幸いです。出展を希望される方は、栢木隆太郎氏まで事前にご連絡ください。

- ・シンポジウムと出展参加申し込み： 栢木隆太郎氏

kayap@cello.ocn.ne.jp



日本支援教育実践学会 (JASEN) 主催

問い合わせ先 成田 滋 naritas@ceser.hyogo-u.ac.jp

平成17年度 大阪教育大学附属養護学校

公開研修会開催要項

本校では、日頃の教育実践及び研究の成果をもとに、本校教職員等が講師となり、公開研修会を毎年開催いたしております。さらに、今年度は障害教育・障害福祉の最先端で活躍されている講師の方々をお招きして講演をお願いしております。この研修会を通して、障害教育に携わっておられる先生方等と、より積極的な情報交換を行い、障害教育を共に考えていく機会としていきたいと思っております。ご参加の程よろしくお願いたします。

NO	開催日時	研修テーマ・概要	講師 *敬称略
1	8月24日 (水) 10:00 ～12:00	<p>「自閉症の理解と支援」 ーコミュニケーションの観点からー</p> <p>自閉症の児童生徒のコミュニケーションの特性と個別の評価の方法、それに基づいた支援について、理解と表現の両面から実践例を交えてお話しします。</p>	大阪自閉症発達障害支援センター アクト大阪 センター長 新澤 伸子
2	8月24日 (水) 13:30 ～15:30	<p>「自立活動における動作法を用いた実践」</p> <p>子どもの日常的な姿勢や動きを分析して、動作法を用いた子どもの課題づくりを行います。自分のからだを使って、子どもの状態像をイメージ化し、体験することでリラクゼーションを図ります。当日は運動のできる服装でお越しください。</p>	大阪府立寝屋川養護学校 教頭 馬淵 政樹 大阪府立中津養護学校 教諭 国貞 広史 大阪府立藤井寺養護学校 教諭 西村 誠三 本校教諭 野口佳子・河野健三・ 三宅ちさと・武田幸造
3	8月25日 (木) 10:00 ～12:00	<p>「今後の特別支援教育とコーディネーターの役割」</p> <ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の基本的な考え方と国の動向 (発達障害者支援法等について) 大阪府における特別支援教育推進地域における取組について 大阪府におけるリーディングスタッフの養成について 特別支援教育コーディネーターに求められる役割と資質 大阪府における基盤整備事業と「特別支援教育コーディネーター」の役割 盲・聾・養護学校のセンター的機能と「障害教育相談員」の役割 	大阪府教育センター 特別支援教育研究室 室長 須田 正信

4	8月25日 (木) 13:30 ~15:30	<p>障害児のためのコミュニケーション指導 「ことばのストレッチ体操」やりとり編</p> <p>ことばはあるけど、生活場面でことばを使えない、人とやりとりができない、やりとりはできるが会話が何かへんだという子がいます。このような子どもに対するコミュニケーション指導について、基本的な考え方や指導事例を報告します。</p>	<p>大阪府立羽曳野養護学校 教諭 堀 一夫</p> <p>大阪府立寝屋川養護学校 教諭 入江慶子・吉岡知穂・ 吉村絵里子</p> <p>大阪府立八尾養護学校 教諭 金茂晃弘</p> <p>本校教諭 大島眞佐子・三木裕子</p>
5	8月26日 (金) 10:00 ~12:00	<p>「障害のある人の就業と就業支援のひろがり」</p> <p>V・s i e n (大阪市職業リハビリテーション／大阪市職業センター／大阪市就業・生活支援センター)での職業指導と就業支援の取り組みを紹介するとともに、最近の就業支援のひろがりについて概説し、障害のある人にとっての就業の意味を考えたいと思います。</p>	<p>大阪市職業リハビリテーション センター 所長 乾 伊津子</p>
6	8月26日 (金) 13:30 ~15:30	<p>「ムーブメント教育からのアプローチ」</p> <p>ムーブメント教育は、子どもの『楽しい』『快い』という気持ちを最大限に生かしながら、身体的活動を通じて身体的な成長と同時に精神的な成長をめざす取り組みです。</p> <p>本校小学部での取り組みを通して、ムーブメント教育について触れてみてほしいと思っています。</p>	<p>本校教諭 金川 朋子</p>

《参加を希望される方へ》

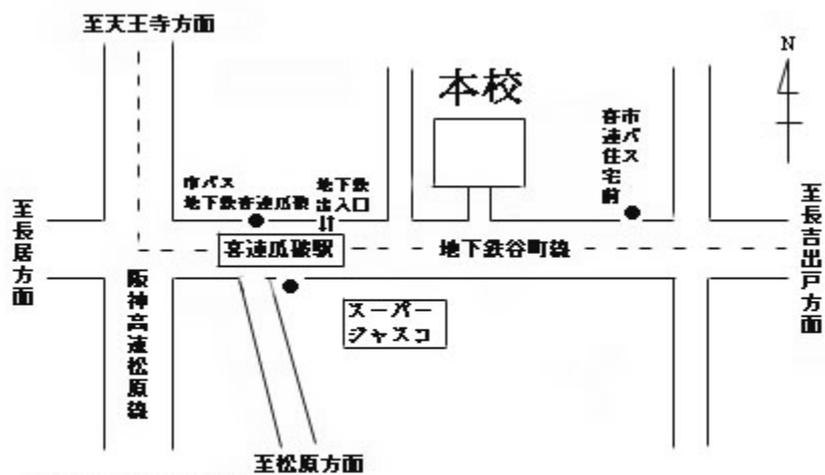
1. 開催時間に違いがあります。間違いのないようにお申し込みください。
2. 申し込み方法:会場・資料などの準備のため、別添申し込み用紙に必要事項を記入の上、郵送又はFAXでお申し込みください。
3. 講座番号1・3・5は、本校教諭のための校内研修も兼ねるため、定員を20名程度とさせていただきます。定員になり次第締め切らせていただきます。ご了承ください。
講座番号2・4・6は、定員を50名程度とさせていただきます。当日参加が可能な場合もありますのでお問い合わせください。
4. 研修会費(資料代・教材費等)は各回¥300—となっています。当日、受付にてお支払いください。
5. 研修会場及び申し込み先(問い合わせ先)

大阪教育大学附属養護学校(研究部研修係)

〒547-0027 大阪市平野区喜連4-8-71

(次ページの地図をご参照ください)

TEL 06-6708-2580 または 2590 FAX 06-6708-2380



●利用交通機関

- ①地下鉄谷町線喜連瓜破下車3番出口上る東へ50m左側
- ②市バス4号系統地下鉄喜連瓜破下車東へ150m

関係者様

大阪教育大学附属養護学校 校長 藤田 裕司
 大阪教育大学障害教育講座 教授 守屋 國光

創立40周年記念研究大会のご案内（一次案内）

新緑の候 皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、昭和41年に創立された本校は今年40周年を迎えることになりました。

この節目の年にあたり、本校と大阪教育大学障害教育講座との共催で、下記のとおり研究大会を開催いたします。

障害教育に携わっておられる先生方と積極的な情報交換を行い、ともに子どもの教育を見つめ、特別支援教育への移行を推進していく機会にしたいと考えております。

皆様方にはご多用中とは存じますが、是非とも多数ご来校いただき、ご指導を賜りますよう、ご案内申し上げます。

記

1 研究テーマ

「くらし」に生きるよりよい支援のあり方をさぐる
 ～「個への支援」の具体化についての実践報告～

2 日時 平成17年11月4日（金） 9時30分～16時30分

3 会場 大阪教育大学附属養護学校
 〒547-0027

大阪市平野区喜連4-8-71 TEL 06-6708-2580 2590 FAX 06-6708-2380

4 内容 I部 「本校における教育実践の現状と課題」

・公開授業 ・分科会

II部 「くらし・つながり・支援を考える」

・全体会

・基調講演 石塚 謙二（文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特殊教育調査官）

・シンポジウム

[シンポジスト] 乾 伊津子（大阪市職業リハビリテーションセンター所長）

森田 安徳（吹田市立教育センター主幹）

三木 裕子（本校 研究・コーディネート部長）

[座長] 守屋 國光（大阪教育大学障害教育講座 教授）

5 日程

	9:30	10:30	11:00	12:30	13:30	14:00	16:30
受付	第I部			昼食 休憩	第II部		
	公開授業	下校	分科会		全体会	基調講演	シンポジウム

みなみやましる夏の公開講座

日時：平成17年8月26日（金）13：00～16：30（受付12：15～）

場所：アスパイヤましる（山城町総合文化センター）

京都府相楽郡山城町平尾前田24番地 0774-86-5851

駐車場有

案内 <http://www.joho-kyoto.or.jp/~f-machi/361/dekakeyo/003/>

講座内容についてのお問い合わせは南山城養護学校へお願いします。

内容：自閉症の子どもたちの理解を深める

講座1「自閉症の基本的理解と具体的支援」

講師：門 真一郎氏（京都市児童福祉センター医師）

講座2「本人が語る『自閉症』の世界」

講師：荒木 大氏

対象：保護者、教職員、施設職員、その他関心のある方
保育体制はありません。

参加費無料、ただし事前予約が必要です。

事前予約はメール（ohmori001@ail.goo.ne.jp）にて下記の項目について御連絡下さい。
定員は約430名で、受理させていただいた方にはその旨返信させていただきます。

氏名

所属名 / 保護者の場合は「保護者」と御記載下さい。

連絡先住所

連絡先電話番号、メールアドレス（個人情報とは本講座以外には流用いたしません）

主催：京都府立南山城養護学校

〒619-0231 京都府相楽郡精華町山田

TEL0774-72-7255/FAX0774-72-7256

担当者 山田（教頭） 長藤（高等部主事） 大森（特別支援部長）

公開講座専用メールアドレス「ohmori001@mail.goo.ne.jp」

発達障害の正しい理解と支援のために

—発達障害に関する啓発セミナー・専門家育成セミナー—

(独立行政法人福祉医療機構子育て支援基金助成事業

「発達障害児の二次障害予防のための啓発及び専門家育成事業」)

主催 NPO 法人アスペ・エルデの会

運営協力 社団法人日本自閉症協会大阪府支部高機能部アルクラブ (大阪アスペの会)

本年4月より、発達障害者支援法が施行されました。この法律の理念が正しく理解され、地域での発達障害児者への支援が行われていくことが求められます。発達障害者が幸福に、社会的に自立した生活を送っていただけるように、一般にも全ての人が彼らについての正しい理解をしていく必要があります。

発達障害者支援法にも示されている通り、発達障害をもつ子どもの多くは成長段階にそった適切な支援を重ねていくことで社会的に自立していただけることが明らかになってきています。一方で、そうした支援が十分でなく、また社会の側の理解が十分ではないために、彼らの潜在的な可能性を伸ばせていないばかりか、二次的な障害や問題を強めてしまっていることも明らかになってきています。そうした二次的な問題が起こってしまったから考えるのではなく、今ある知見を基に、発達障害をもつ子どもたちがいかにしてより幸福になりうるのかを考え、発達段階のなかでできることを積み重ねていくことが重要であると考えられます。

今回、独立行政法人福祉医療機構の子育て支援基金による調査研究事業として、一般向けの啓発セミナーを実施し、発達障害、特に広汎性発達障害についての理解の促進をはかります。また、午後には専門家育成のためのセミナーを実施します。

午前の部では親、一般の方を対象に基本的知識をもっていただくための内容で、発達障害について、特に自閉症などの広汎性発達障害や、アスペルガー症候群についての基礎知識と、発達段階ごとの支援のあり方、発達障害者支援法について話をします。

午後の部では、実際に、発達障害児者の支援に取り組み、専門家としての役割をしている小・中・高等学校教師や、保育士・幼稚園教諭、小児科医、学校医、保健師等を対象とした、発達障害児者への発達支援プランの立案と実行、支援ネットワーク作りに関する専門家育成セミナーを行います。参加条件として、実際に、現在指導している児童・生徒についての報告(メモ程度)を用意してくること、セミナー後、メールでの経過報告を行い、経過についての助言を受けること、2月に予定されている名古屋で実施される予定の人材育成セミナーへ参加する意志をもつことが参加条件となります。

セミナーを通して、発達障害についての知識を深めていく人が多く出ることを期待いた

します。セミナー参加者は、セミナーについての調査に協力を求められます。

このセミナーは、東海地区(名古屋・岐阜・豊橋)、東京、大阪、仙台、金沢、徳島、長野、新潟、岡山、山口で実施します。

実施要項

日 時 平成17年8月7日(日) 一般向け啓発セミナー：午前10時～12時
実践セミナー：午後1時30分
～ 4時30分

場 所 中央区民センター(〒541-8518 大阪市中央区久太郎町1-2-27)
TEL 06-6267-0201 FAX 06-6267-0950
地下鉄堺筋線・中央線「堺筋本町」下車



講 師 辻井正次： 中京大学社会学部助教授 / NPO 法人アスペ・エルデの会理事長

参加条件

午前 一般向け啓発セミナー：

親、ご家族も含め、どなたでも参加できます。参加後セミナーについての調査に協力していただきます。

午後 専門家育成セミナー：

実際に、発達障害児者の支援に取り組み、専門家としての役割をしている小・中・高等学校教師や、保育士・幼稚園教諭、小児科医、学校医、保健師等を対象とした、発達障害児者への発達支援プランの立案と実行、支援ネットワーク作りに関する専門家育成セミナーを行います。参加条件として、実際に、現在指導している児童・生徒についての報告(メモ程度。A4用紙1枚、コピー含め4部)を用意してくること、セミナー後、メールでの経過報告を行い、経過についての助言を受けること、2月に予定されている名古屋で実施される予定の人材育成セミナーへ参加する意志

をもつことが必要です。また、参加の前提として、セミナーに関する守秘義務が遵守できること。定員や職種内容によってお断りすることがあります。ご家族などの参加、あるいは勉強を希望する学生さん等の参加はお断りいたしますので、その件についてのお問合せはなさないで下さい。参加後セミナーについての調査に協力していただきます。

セミナー内容としては、症例全体についての介入プランについての講義・演習をおこない、個々の症例を発表するわけではありません。

参加費 無料

募集人数： 午前 一般向け啓発セミナー : 80人
午後 専門家育成セミナー : 20人

申込み締め切り： 7月27日(水)

お申し込み・お問い合わせ：

午前の部、午後の部ともに、参加希望者は申し込みが必要です。

両方参加を希望される方は、各々申し込みが必要です。

定員に達し次第、受付を打ち切りますので、悪しからずご了承ください。

参加をお断りする方のみにご連絡をいたします。

問い合わせには原則として応じられませんのでご了承ください。

なお、当日託児はありません。

午前 一般向け啓発セミナー

「発達障害啓発セミナー・一般向け申し込み」と題名につけ、電子メールでの申込先は alclub@as-japan.jp へ、

郵送申し込み先は、

〒567-8799 茨木郵便局留

社団法人日本自閉症協会大阪府支部高機能部アルクラブ(大阪アスペの会)

まで、以下の項目全てにご記入の上お申し込み下さい。

1. 氏名：
2. 年齢：
3. 所属先：
4. 立場(親・教師など)
5. 住所(所属先でも可)
6. 電話番号(同上)
7. 個人 E-mail

8 . 事務連絡欄 :

午後 専門家育成セミナー :

「専門家育成セミナー申し込み」と題名につけ、電子メールでの申込先は
alclub@as-japan.jpへ、

郵送申し込み先は、

〒567-8799 茨木郵便局留

社団法人日本自閉症協会大阪府支部高機能部アルクラブ (大阪アスペの会)

まで、以下の項目全てにご記入の上お申し込み下さい。

- 1 . 氏名 :
- 2 . 年齢 :
- 3 . 所属先 :
- 4 . 職種 :
- 5 . 今回、症例提示できるお子さんの学年・年齢 :
- 6 . 所属先住所 :
- 7 . 所属先電話番号 :
- 8 . 個人 E-mail :
- 9 . 事務連絡欄 :